

令和5年7月2日 10時開催

**西南小タウンミーティング 当日の質疑応答** に関する回答

※内容を「①すぐできるもの」「②時間がかかるもの」「③できないもの」に分類し、「分類」欄に①～③の番号を記入してください。

No.	内容	分類	回答
1	市役所はどんどん委託化が進んでおり、正規職員が少なくなっている。経費節減になると思われるが、長期的なことから考えるが不安である。災害時にも、正規職員が少なく対応できるのか？	ー	<b>【総務部 人事室】</b> 委託の効果としては、経費削減だけではなく、民間のノウハウを生かした市民サービス向上や、定型的な業務を委託し、職員が専門的な業務に専念することによる業務効率の向上があります。また、増大する行政需要に的確に対応するために必要な職員数を計画的に確保していくことで、中長期的に安定的な行政サービスの提供に努めていきます。
			<b>【総務部 市民安全政策室】</b> 引き続き地区防災委員会の活動などを支援することで、災害発生時には、地域の方々の協力も得ながら対応できる体制づくりに努めます。また職員の負担を軽減し、限られた人員でも災害に対応できるような、効率的な手法の検討を進めます。
2	あかつき園の改修は、いつ頃行うか。	②	<b>【健康福祉部 障害福祉室】</b> あかつき園の再整備については、現在基本計画策定の委託契約を行い、策定に向けた作業を進めています。 今年度中に基本計画を策定し、設計を進めていきます。
3	桜井駅前の一時預かりの車が丸一日放置する車がある。そのためか交通渋滞が発生する。駐車場対策、交通渋滞対策をしてほしい。	②	<b>【みどりまちづくり部 道路管理室】</b> <b>【みどりまちづくり部 道路整備室】</b> 箕面市立桜井駅前駐車場については、長時間の駐車をさせないことを目的に、駐車料金の上限を設けないことや、4時間以上の駐車には割高な料金設定とし、長時間の駐車を抑制する対応としています。 なお、駐車場の供用後も恒常的に渋滞が発生するような状況であれば、改めて交通渋滞対策を検討します。
4	フリーター等の低所得者にとって税負担が重いと感じ	③	<b>【総務部 市民税室】</b> 行政サービスの推進等のため、市税は貴重な

	られるが、市民税の減税・控除の拡大は考えているか？		財源であり、本市として減税を行う考えはありません。また、所得控除については地方税法において規定されているため市町村において、控除の拡大によって市民税の減税を行う考えはありません。
5	商品券の応募が殺到することから、平等性、商品券政策と配布、経済的合理性の観点から教えてほしい。	—	<p><b>【地域創造部 箕面営業室】</b></p> <p>プレミアム付商品券事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民の生活支援と売上が減少した箕面市内の中小、小規模事業者を応援する目的で令和2年度から実施しています。</p> <p>令和4年度においては、コロナ禍における物価高騰等の状況を鑑み、特に支援が必要と思われる低所得者層の世帯に対して、1世帯あたり5,000円の商品券を配布し、経済的な支援を実施しました。</p> <p>今年度実施しているプレミアム付商品券事業については、所得状況を問わず実施していますが、今後の経済状況を注視し、必要な支援を検討します。</p>
6	箕面市が過去から取り組んできた障害のある子どもへの施策は、全国に誇れると思っている。現在、国が新たな「こども誰でも通園制度」を提唱しているが、その中で、箕面市としてはどう対応していくのか。	①	<p><b>【子ども未来創造局 保育幼稚園総務室】</b> <b>【子ども未来創造局 保育幼稚園利用室】</b></p> <p>本市は従来から支援が必要な児童について、公立民間に関わらず、できる限り希望に沿った施設に通っていただくよう取り組んできました。</p> <p>今後も支援が必要な児童について、保育が必要な場合には、必要な配慮のもと、他の児童と等しく保育を受けられるようにすることをめざしています。</p> <p>なお、「こども誰でも通園制度」については、現在、国においてモデル事業を実施しながら本格実施に向けた課題の洗い出しや制度構築などが行われています。引き続き国の動きを注視し、制度の把握に努めます。</p>
7	森町のトンネル料金が高い。森町は、トンネルがあり、福祉を始めとして空白地帯となっていると、相談支援専門員をやっている観点から思う。	②	<p><b>【地域創造部 交通政策室】</b></p> <p>箕面有料道路の通行料金は普通車 630円、軽自動車 520円となっていますが、社会実験による割引が実施されており、現在は普通車 420円、軽自動車 360円で通行することができます。</p> <p>なお、箕面有料道路をNEXCO西日本へ移管す</p>

			<p>ることで、料金の低廉化の可能性があるため、移管について大阪府を通じて国やNEXCO 西日本へ強く働きかけているところです。</p> <p><b>【健康福祉部 高齢福祉室】</b> <b>【子ども未来創造局 子育て支援室】</b></p> <p>当地域は介護サービス事業所等が少ないため、市民が近隣町の地域密着型サービス事業所も利用できるよう特例的に指定を行っています。</p> <p>また、子育て支援としては、保育士がとどろみの森学園(月3回)と森町自治会館(月1回)、ピースガーデン自治会館(月1回)に出張し、子育て中の親子が気軽に集え、楽しく過ごせる場の提供を通して相互の交流を促していることと、子育て・子育て等に関する相談対応や子育て関連サービスに関する情報提供等を行い、育児不安の軽減や解消に努めています。</p>
8	箕面市人権宣言ができてからずいぶん時間がたち、その経緯や存在を知らない市民が多くなっている。もっと周知に力を入れる必要があるのではないか。	②	<p><b>【人権文化部 人権施策室】</b></p> <p>今年度は人権宣言30周年であり、それを取り上げる人権フォーラムに市も参画するほか、今後も啓発事業などを通じて、広く周知を図ります。</p>
9	西部は、開発・道路がほったらかしであり、整備や手入れがされていない。特に箕面自由学園から高架に至るまでの自転車が危ない	②	<p><b>【みどりまちづくり部 道路管理室】</b></p> <p>危険箇所について、具体的に場所を教えていただければ、職員が現地を確認し、対応について検討します。</p> <p>なお、国道171号は国土交通省が管理しており、危険箇所があれば市からも要望しています。現在、令和元年5月に滋賀県大津市の歩道で信号待ちをしていた保育園児等が車に巻き込まれた事故を受けて、信号交差点において歩道に車が乗り上げない対策を要望しているところです。</p>
10	ゆずるバスは1時間に1本しかなく、利便性が悪い。そのため、利用者が少なく、乗客のいないバスを運転する運転手は可哀そうである。	①	<p><b>【地域創造部 交通政策室】</b></p> <p>オレンジゆずるバスは年間約40万人のかたにご利用をいただいているところです。</p> <p>将来にわたって持続可能な運行とするため1時間に1本の運行としています。</p> <p>なお、1時間に1本の毎時〇〇分発という、パターンダイヤは利用者からわかりやすいと</p>

			好評を得ています。
11	図書館スマートフォン体験講座は、ソフトバンクの宣伝だった。市の広報誌でもって、ソフトバンクの宣伝を加担することに不信感を覚える。	—	<p><b>【子ども未来創造局 中央図書館】</b></p> <p>図書館で実施のスマートフォン体験講座は、初歩的なスマートフォンの使い方を実際に体験いただくもので、令和3年から開催しており、分かりやすいと好評だったことから、現在も継続して開催しているものです。</p> <p>6月の西南図書館での講座は、その応用編でコミュニケーションアプリのLINEやスマホ決済の使い方を体験いただきました。ご利用の携帯会社にかかわらず活用いただける内容になっています。</p> <p>開催は図書館とソフトバンクが連携して行っており、ソフトバンクには無料で講師の派遣や体験機の貸出、講座内容に電子図書館の説明を追加するなど担っていただいています。講座の最後にソフトバンクの取り組みや、さらに質問をされたいかたのために、最寄りの店舗の紹介などが行われますが、講座申込時に伺ったお名前や電話番号は図書館で管理しており、ソフトバンクには一切提供していません。さらに説明を聞きたいなどのご希望があるかただけ、ソフトバンクに連絡先を直接お知らせいただいています。</p>
12	教師の働き方改革が進められています。国の方針では、地域ボランティアの連絡調整は必ずしも教員の対応が必須ではないとのことだが、地域団体の活動はどのように考えたらよいか。学校と地域が対立関係にならないように、学校の中で、地域と学校の間を取り持つ役割の方、担当の人をおくことのご検討をお願いしたい。	—	<p><b>【子ども未来創造局 教職員人事室】</b> <b>【子ども未来創造局 青少年育成室】</b></p> <p>教師の働き方改革は喫緊の課題です。教師のこれまでの働き方を見直し、児童生徒に対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、各学校で取組を進めています。</p> <p>一方、学校・家庭・地域の連携の重要性から、本市では「三者連携で子ども達に豊かな経験を」という方針で各校区の青少年を守る会を中心に地域行事が展開・継続されています。</p> <p>働き方改革の取組と、これまで積み重ねてきた地域活動の維持継承と、どう両立していくのかを念頭に、持続可能な活動となるよう、今後、各校区ごとに相談・調整していくことが重要と認識しています。必要に応じて、市教委も調整を図りたいと考えています。</p>